

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第10週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は1,779人(定点あたり45.9)で、前週比100%であった。

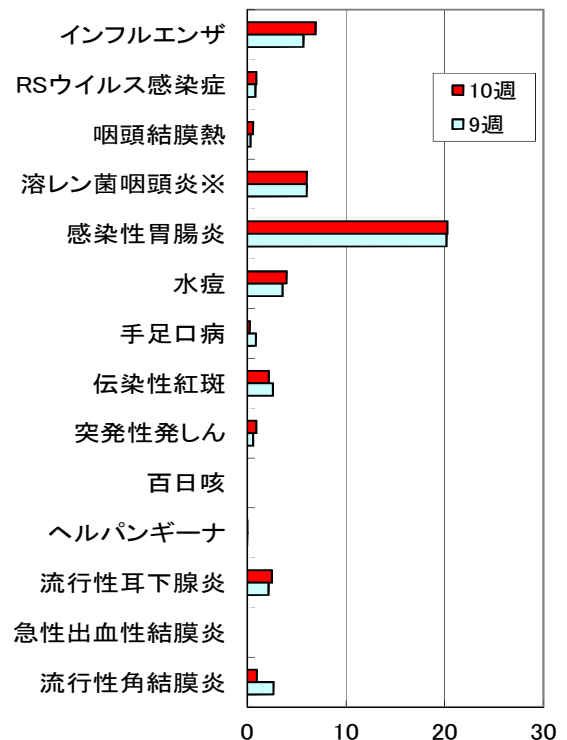
前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は伝染性紅斑であった。

インフルエンザの報告数は409人(6.9)で前週比122%と増加した。中央(23.5)、宮崎市(12.6)、高鍋(11.3)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の31%、6-9歳が37%、10-14歳が22%、15-19歳が2%、20-50歳代が6%、60歳以上が2%を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は91人(2.5)で前週比117%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(1.6)の約1.5倍と多い。日南(12.7)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では3歳から5歳で全体の約半数を占めた。

マイコプラズマ肺炎1人が延岡保健所から報告された。3歳の女児で原因菌は *Mycoplasma pneumoniae* であった。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	6.1	延岡(25.8)	3歳~7歳で全体の約7割を占めた。
感染性胃腸炎	20	20.3	日南(36.7)、小林(30.0)、 都城(29.0)、中央(24.0)	1歳~3歳で全体の約4割を占めた。
水痘	7	4.0	高鍋(7.3)	1歳~4歳で全体の約8割を占めた。
伝染性紅斑	2	2.2	高鍋(5.8)、宮崎市(4.3)、 中央(4.0)	4歳~6歳で全体の約半数を占めた。
流行性耳下腺炎	6	2.5	日南(12.7)	3歳から5歳で全体の約半数を占めた。

□ 感染性胃腸炎の集団発生（平成 23 年 3 月 7 日～平成 23 年 3 月 13 日まで）

保健所名	施設の種別	件数
延岡	その他	1

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 4 例が宮崎市・都城・延岡・高鍋（各 1 例）保健所から報告された。
《宮崎市保健所》・60 歳代の男性で肺結核。発熱がみられた。
《都城保健所》・60 歳代の女性でその他の結核（結核性胸膜炎）。食欲不振、寝汗、腹部膨満感がみられた。
《延岡保健所》・80 歳代の男性で肺結核。咳がみられた。
《高鍋保健所》・80 歳代の男性で肺結核及びその他の結核（結核性胸膜炎）。呼吸困難がみられた。
- 3 類感染症： 報告なし。
- 4 類感染症： 報告なし。
- 5 類感染症： ○後天性免疫不全症候群 1 例が宮崎市保健所から報告された。50 歳代の男性で無症候性キャリア。
○梅毒 1 例が宮崎市保健所から報告された。50 歳代の男性で早期顕症梅毒Ⅱ期。梅毒性バラ疹、丘疹性梅毒疹がみられた。
○風疹 1 例が日南保健所から報告された。30 歳代の女性で発疹、リンパ節腫脹、関節痛、関節炎がみられた。

■ 全国第 9 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 31.7 で、前週比 93%と減少した。今週増加した主な疾患は咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はインフルエンザと R S ウイルス感染症であった。

咽頭結膜熱の報告数は 1,367 人 (0.43) で、前週比 110%と増加した。富山県 (2.3)、福井県 (2.0)、広島県・鹿児島県 (1.0) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 5 歳で全体の約 8 割を占めた。

インフルエンザの報告数は 68,327 人 (13.9) で、前週比 88%と減少した。山口県 (37.9)、愛知県 (32.3)、大分県 (29.2) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 28%、6-9 歳が 37%、10-14 歳が 20%、15-19 歳が 2%、20-50 歳代が 11%、60 歳以上が 2%を占めた。

□全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 352 例
- 3 類感染症： 細菌性赤痢 13 例、腸管出血性大腸菌感染症 15 例
- 4 類感染症： E 型肝炎 1 例、A 型肝炎 1 例、つつが虫病 2 例、デング熱 3 例、レジオネラ症 8 例
- 5 類感染症： アメーバ赤痢 10 例、ウイルス性肝炎 2 例、急性脳炎 2 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例、後天性免疫不全症候群 11 例、ジアルジア症 1 例、梅毒 4 例、破傷風 1 例、麻しん 4 例

■月報告対象疾患の発生動向 <2月>

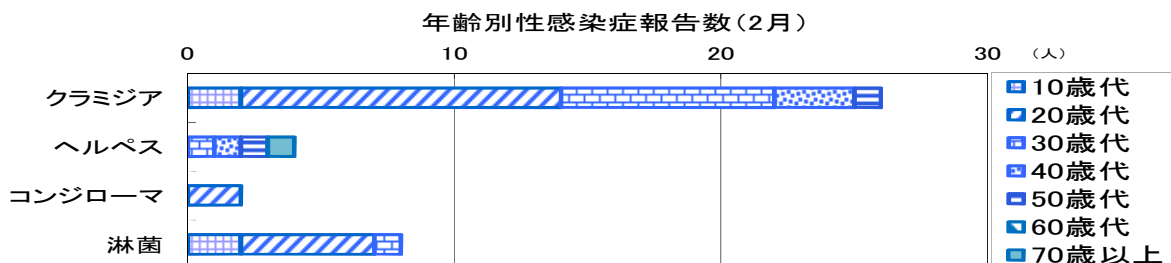
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は40人（3.1）で、前月比129%と増加した。昨年2月（3.9）の約8割であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数26人（2.0）で、前月の約1.2倍、前年の約8割であった。日向（5.0）、都城（3.0）、宮崎市（2.3）保健所からの報告が多く、男性15人・女性11人で、20歳代が全体の約半数、30歳代が約3割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人（0.31）で、前月の約1.3倍、前年の約7割であった。男性1人・女性3人で、30歳代・40歳代・50歳代・70歳代が各1人であった。
- 尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で、前月の約2倍、前年の約4割であった。20歳代の女性であった。
- 淋菌感染症：報告数8人（0.62）で、前月の約1.1倍、前年と同数であった。男性5人・女性3人で、10歳代が2人、20歳代が5人、30歳代が1人であった。



【全国】 定点医療機関総数：963

定点医療機関からの報告総数は3,690人（3.8）で、前月比91%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,944人（2.0）で前月比92%、性器ヘルペスウイルス感染症641人（0.67）で前月比105%、尖圭コンジローマ399人（0.41）で前月比87%、淋菌感染症706人（0.73）で前月比79%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人（3.0）で前月比58%と減少した。また昨年2月（5.9）の約半数であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数16人（2.3）で、前月の約6割、前年の約8割であった。延岡（6.0）、高鍋（4.0）、日南（3.0）保健所からの報告が多く、70歳以上が全体の約9割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数5人（0.71）で、前月の約6割、前年の約2割であった。宮崎市（4.0）保健所からの報告が多く、1歳未満が全体の約6割を占めた。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：467

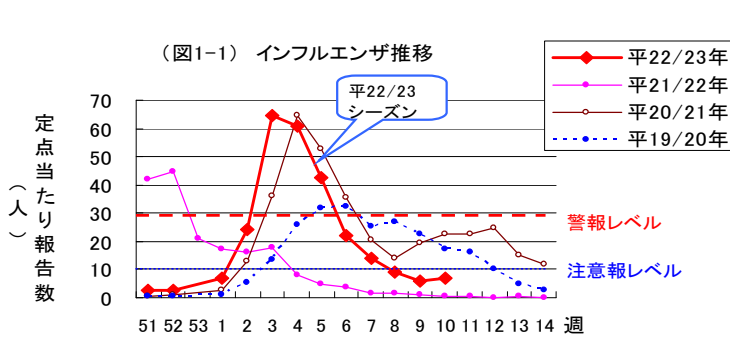
定点医療機関からの報告総数は2,217人（4.8）で、前月比95%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,811人（3.9）で前月比98%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症379人（0.81）で前月比86%、薬剤耐性緑膿菌感染症26人（0.06）で前月比60%、薬剤耐性アシネトバクター感染症1人であった。

※薬剤耐性アシネトバクター感染症は2月より定点把握対象疾患となりました。

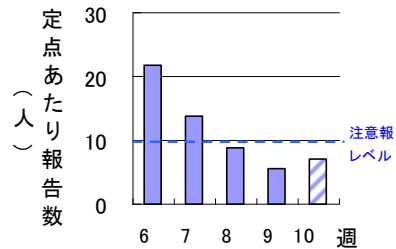
■ インフルエンザ情報《県内第10週、全国第9週（再掲）》

□ 県内第10週インフルエンザ発生動向

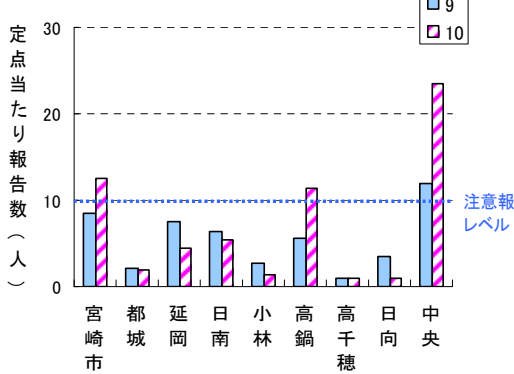
平成23年3月7日～3月13日までの1週間で409人（定点あたり6.9）の報告があり、前週に比べ122%と増加した（図1-1,2）。中央（23.5）・宮崎市（12.6）・高鍋（11.3）保健所からの報告が多く（図2）、年齢別では5歳以下が全体の31%、6-9歳が37%、10-14歳が22%、15-19歳が2%、20-50歳代が6%、60歳以上が2%を占めた（図3）。



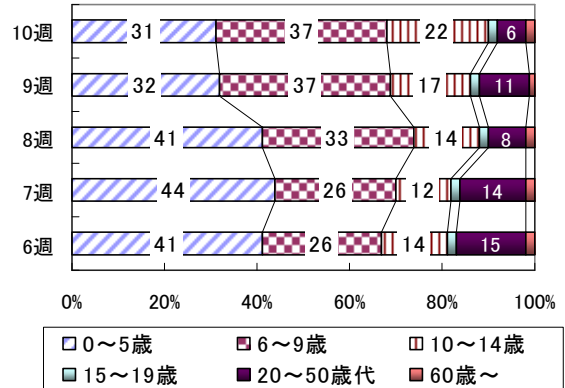
(図1-2) インフルエンザ総数推移



(図2) 保健所別報告数



(図3) 年齢群別の割合 (%)



インフルエンザ 警戒・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警戒・注意報レベル発生状況

○:警戒レベル、△:注意報レベル、-警戒・注意報レベルなし

保健所	今週 (第10週)		1週前 (第9週)		2週前 (第8週)		3週前 (第7週)		4週前 (第6週)		5週前 (第5週)	
	3/7~3/13		2/28~3/6		2/21~2/27		2/14~2/20		2/7~2/13		1/31~2/6	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	12.6	△	8.5	-	15.8	△	18.4	△	24.4	△	38.6	○
都城	2.0	-	2.1	-	3.4	-	8.7	-	19.0	△	41.8	○
延岡	4.4	-	7.6	-	7.9	-	15.9	△	26.3	△	66.1	○
日南	5.4	-	6.4	-	2.6	-	9.4	-	18.2	△	31.0	○
小林	1.4	-	2.6	-	6.4	-	14.2	△	31.8	○	46.2	○
高鍋	11.3	△	5.7	-	12.3	△	10.7	△	12.7	△	32.8	○
高千穂	1.0	-	1.0	-	3.0	-	7.5	-	6.5	-	22.5	△
日向	1.0	-	3.5	-	7.7	-	15.8	△	20.8	△	42.3	○
中央	23.5	△	12.0	△	7.5	-	15.0	△	29.0	△	57.0	○

□ 全国第9週インフルエンザ発生動向

平成23年2月28日～3月6日までの1週間で68,327人（13.9）の報告があり、前週比88%と減少した。山口県（37.9）、愛知県（32.3）、大分県（29.2）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の28%、6-9歳が37%、10-14歳が20%、15-19歳が2%、20-50歳代が11%、60歳以上が2%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第10週(03月07日～03月13日)

疾病名		第9週	第10週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	336	409	201	20	31	27	7	68	2	6	47
	定点あたり	5.69	6.93	12.56	2.00	4.43	5.40	1.40	11.33	1.00	1.00	23.50
RSウイルス 感染症	報告数	31	34	1	4	1	2		13	1	12	
	定点あたり	0.86	0.94	0.10	0.67	0.25	0.67	0.00	3.25	1.00	3.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	12	22	1	7	4	8				1	1
	定点あたり	0.33	0.61	0.10	1.17	1.00	2.67	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	218	218	32	21	103	18	6	13	3	19	3
	定点あたり	6.06	6.06	3.20	3.50	25.75	6.00	2.00	3.25	3.00	4.75	3.00
感染性胃腸炎	報告数	727	730	137	174	48	110	90	65	11	71	24
	定点あたり	20.19	20.28	13.70	29.00	12.00	36.67	30.00	16.25	11.00	17.75	24.00
水痘	報告数	129	144	51	17	8	6	5	29		24	4
	定点あたり	3.58	4.00	5.10	2.83	2.00	2.00	1.67	7.25	0.00	6.00	4.00
手足口病	報告数	33	10	7			1		1		1	
	定点あたり	0.92	0.28	0.70	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	94	79	43	1	6	2		23			4
	定点あたり	2.61	2.19	4.30	0.17	1.50	0.67	0.00	5.75	0.00	0.00	4.00
突発性発しん	報告数	22	34	8	3	9	1	2	4		7	
	定点あたり	0.61	0.94	0.80	0.50	2.25	0.33	0.67	1.00	0.00	1.75	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1			1						
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	78	91	38	7	7	38					1
	定点あたり	2.17	2.53	3.80	1.17	1.75	12.67	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	6	6								
	定点あたり	2.67	1.00	2.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～10週)

2類感染症	結核	52例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例				
4類感染症	つつが虫病	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	3例
	後天性免疫不全症候群	2例(1)	梅毒	2例(1)	破傷風	1例
	風しん	1例(1)				

●動物感染症累積報告数(2011年1週～10週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	15例
-------	-------------------	-----

()内は今週届出分、再掲